

# はままつ 市議会だより

第200号

令和6年5月5日

身近な市議会を目指して



## もくじ *contents*

- |              |      |
|--------------|------|
| ◎ 2月定例会のあらまし | P 2  |
| ◎ 可決した主な議案   | P 3  |
| ◎ 常任委員会の状況   | P 4  |
| ◎ 代表質問・一般質問  | P 6  |
| ◎ 一般質問       | P 7  |
| ◎ 特別委員会の活動状況 | P 11 |

《畑と赤土の道(浜松風景)》きしだりゅうせい岸田劉生 作  
板・油彩 1920年 福島県立美術館蔵

～浜松市美術館～  
岸田劉生・北蓮蔵・曾宮一念「浜松ゆかりの洋画」展より

市議会の詳しい情報は  
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索



**2月**  
定例会

## 6年度予算 総額約6980億円を可決

オール浜松で「元気なまち・浜松」の実現へ

2月定例会は、2月16日から3月22日までの36日間にわたって開催しました。

### ◎補正予算などを可決

2月27日の本会議では、常任委員会で審査した5年度関係議案32件について、1議員から4議案に対する反対討論がありましたが、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

### ◎市長が施政方針を表明

同日の本会議では、6年度関係議案の上程に当たって市長から施政方針の表明がありました。その中で、「浜松から地方創生」を基本方針と掲げ、6年度は「まち・ひと・しごと」の創生を一体的・総合的に進めることにより、浜松を元気にする取組を加速化するとして、就任時の初心を忘れることなく現場に足を運び、多くの市民や企業などと議論を重ね、声を聞きながら、オール浜松で「元気なまち・浜松」を実現していくとの決意が述べられました。



6年度施政方針を表明する中野市長

### ◎代表・一般質問に13議員

3月7日の本会議では2会派が代表質問、2議員が一般質問を、また3月11日及び12日の本会議では9議員が一般質問を行い、市の施策について考えをただしました。

### ◎6年度関係議案を可決

3月22日の本会議では、追加上程した議案を含めた44議案について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、6議員が討論に立ち、6年度一般会計予算に対しては3議員から反対討論、2議員から賛成討論、また廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例の一部改正に対しては3議員から反対討論、さらにその他6議案に対して1議員から反対討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

〔3月〕										〔2月〕						
22日	21日	19日	15日	14日	13日	12日	11日	7日	6日	27日	26日	19日	16日	13日	9日	
本会議(6年度関係議案採決・2月定例会閉会)	議会運営委員会 本会議(6年度関係議案)	特別委員会	大型公共施設建設 地方創生特別委員会	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会 本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	一般質問 本会議(代表質問)	議会運営委員会 本会議(代表質問)	厚生保健委員会 案上程・施政方針)	案採決・6年度関係議案上程・施政方針)	議会運営委員会	各常任委員会	各常任委員会 本会議(2月定例会開会)	地方創生特別委員会 本会議(2月定例会開会)	議会運営委員会

議会活動の経過

## 可決した主な議案

### 6年度一般会計予算 総額3963億円

- ◆雨水貯留施設の整備、河川・排水路の改修など豪雨災害対策 52億1700万円
- ◆子ども医療費無償化の対象を乳幼児まで拡大し、経済的負担や心理的不安を軽減 43億592万円
- ◆交通事故削減効果の高い対策で、交通事故ワースト1からの脱出 21億1910万円
- ◆天竜区青谷に整備した天竜清掃工場及び破碎処理センターの管理・運営経費 18億8796万円



4月に運営を開始した天竜清掃工場

- ◆予想される大地震による市民の生命や財産への被害を最小限に抑えるため、旧耐震基準で建てられた建築物の耐震化などに助成 2億6343万円

### 動物の愛護及び管理に関する条例の制定

#### ●人と動物の共生する社会の実現

動物愛護の意識高揚を図り、犬や猫など動物の健康や安全を保持するとともに、人の身体や財産への被害防止、生活環境の保全を図ることで、人と動物の共生する社会の実現を目指します。

- ◆第12回浜松国際ピアノコンクールを開催し「音楽の都・浜松」を世界に向けて発信 1億4379万円



前大会の優勝者ジャン・チャクムルさん(トルコ)

- ◆令和6年能登半島地震を受け、災害時に必要となる飲料水、携帯トイレなど備蓄品を拡充し、区役所へ簡易シャワーを配備 7585万円
- ◆都市のブランディングを通じて、交流人口の拡大、企業誘致など地方創生につなげる戦略的なシティプロモーションを展開 7446万円



メタバースイベントでの浜松市ブース

- ◆江之島地区や三ヶ日地区にビーチ・マリンスポーツの聖地として大規模イベントや合宿を誘致 4259万円
- ◆50歳以上の市民へ带状疱疹ワクチンに関する情報提供や接種費用の公費助成を行い、健康の保持・増進を図る 2405万円 など

## 可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆住宅耐震化の推進を求める意見書
- ◆ゲノム編集技術応用食品に関する情報の消費者への提供を求める意見書
- ◆特定空家対策の推進を求める意見書

# 常任委員会の状況

3月13日、14日に開催した各委員会での審査の概要です

## 環境経済委員会

## 市民文教委員会

● 廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例の一部改正について

**質疑** 家庭系ごみの排出量が目標値を超えた場合は、家庭ごみの有料化を実施するのか。

**答弁** 排出量の目標値を数グラムしか超えなかった場合には、改めて検討した上で結論を出す予定であり、単純に目標値のみで判断するものではない。

**質疑** 仮に排出量が目標値を大きく超えて有料化を実施する場合、スケジュールの想定は。

**答弁** 前年の達成状況が分かる1月に判断し、その年の2月議会に新年度の関連予算を提案する。予算が可決された場合、新しい指定ご

み袋の作成及び制度の周知期間を考慮し、1年から1年半後に有料化を実施する想定である。

**質疑** 目標達成の可能性についての考えは。

**答弁** これまで約1%で推移していた排出量の減少率は、5年度の4月から12月で約6.5%と大きく減少しており、この状態が続けば目標を達成する可能性はあると考えている。最終年である令和10年の目標値は、令和2年の排出量の約2割を削減することになるが、燃えるごみに出される食品ロスや雑がみ、きれいなプラスチック容器包装などと同程度の割合であり、減量や分別の徹底により達成不可能

ではないと考えている。

● 産業用ロボット導入支援事業について

**質疑** 導入する市内5件の中小企業に対し、50万円を上限に補助するとのことだが、不足はないか。

**答弁** ロボット導入費用の平均約1000万円の2分の1の補助率としている。件数については他都市の実績などを踏まえて設定しており、まずはこの件数で開始していく。



産業用ロボット導入例  
出典：浜松商工会議所「ハマロボSlerナビ」

● 地区コミュニティ協議会事業について

**質疑** 中央区における地区コミュニティ協議会設置に向けた動きをどのように見ているのか。

**答弁** 2地区において地区コミュニティ協議会が立ち上がり、別の2地区においても設置に前向きであることを確認している。設置に当たっては、地域の盛り上がり最も重要だと考えることから、今後その動向を注視するとともに、協働センターや区役所などにおいて積極的にアドバイスやサポートをしたい。

● 芸術文化に親しむ人材育成のための管楽器再生・活用事業について

**質疑** 小学校で使われなくなった管楽器を再生し、貸出しなどを行うって活用することだが、貸出し条件などの詳細はどうか。

**答弁** 民間の楽器レンタル業を圧迫することがないよう配慮しつつ、まずはきっかけづくりという視点で開始する。原則として貸出し期間は1か月として、同一人物による連続利用は控えてもらい、貸出し料は、楽器の修繕にかかる費用などを考慮し、1000円から5000円の範囲で設定することを想定している。

● 不登校デジタル支援事業について

**質疑** ICTを活用した支援を実施することだが、オンライン

で授業に双方向で参加するといった取組を実施する考えはないか。

**答弁** 昨年度の不登校児童・生徒のうち、長期間何らかの支援と結びついていない子どもが250人ほどいると認識しており、本事業はその子どもたちに対する支援の第一歩として実施するものである。今後、事業の充実を図る中で、検討していきたい。



小学校で使われず眠っている管楽器の状態を調査点検する楽器専門店のスタッフ

## 総務委員会

## 厚生保健委員会

## 建設消防委員会

● 防災施設・資機材維持管理事業について

**質疑** 導入を予定する簡易シャワーの詳細は。

**答弁** 排水の98%を再利用することができ、循環ろ過装置を備えており、ワンボックス車などに積載できる可搬式のもので、使用時にはテント状に展開して設置する。費用は1基70万円を見込んでおり、今回は3基を導入し、各区にそれぞれ1基ずつ配備していく。

● 公金取扱事業について

**質疑** 窓口収納手数料増額の背景は。

**答弁** 4年3月の総務省通知を受けた金融機関からの要望に基づき協議した結果、1件当たりの単価が5円から55円に引き上げられたことによるものである。次期施設予約サービス導入事業について

**質疑** PayPayなどのコード決済に対応する考えはないか。

**答弁** コード決済に対応できるサービスが開始したところであり、対応するサービスの数も少ないため、今回の予算要求では、現時点で幅広く提供されているクレジットカードに対応したオンライン決済サービスを想定している。なお、サービスの選定に当たっては、コード決済などに将来対応できる拡張性も十分に考慮して検討していく。



浜松市スポーツ・文化施設予約システム「まつぼっくり」

● 重層的支援体制整備事業について

**質疑** 本事業では、子ども、高齢者、福祉など、これまで分野ごとに交付されていた国からの補助金が一括交付される仕組みとなるが、これによる利点は何か。

**答弁** 地域包括支援センターが把握した子どもの課題への対応など、複雑な課題を抱える家庭への支援において、関係機関の連携がしやすくなる、また高齢者のサロンに子供が参加できるようにするなど、従来の補助金対象の枠組みに縛られない柔軟な対応が可能となる。こども計画策定事業について

**質疑** 本計画の策定に当たり、当事者となる子どもの意見をどのように聴取していくのか。

**答弁** 現在、計画策定

に向けて実施しているアンケートにおいて、子どもが記入する自由記載欄を設けている。

また、若者に対しては、SNS相談の利用者にアンケートを実施している。さらに、声を上げにくい人たちの意見を聞く方法として、施設への職員が訪問することなども考えている。

● ゲートキーパー養成事業について

**質疑** これまでの自殺対策との違いとして、本事業で特に力を入れることは何か。

**答弁** 学校領域やハイリスフの人たちに関する救急医療機関をはじめ、女性の自殺対策や妊産婦に対する支援の充実として、助産師や保健師に対し、ゲートキーパー研修を推進するものである。

● 雨水流出抑制施設整備事業について

**質疑** 6年度は市内5校に校庭貯留施設を整備予定とのことだが、地域への周知は。

**答弁** 浸水対策のため、校庭貯留や公園貯留など、公共施設において貯留をしていることは、広く市民に理解される必要がある。特に学校においては、児童・生徒が、自分の学校がそのような仕様になっていることを知ることも、防災教育として必要であるため、校庭への説明看板の設置等により、周知を図っていく。

● 水道管路の耐震化・老朽化対策事業について

**質疑** 液状化対策も想定した計画であるか。

**答弁** 液状化も視野に入れた計画となっております。液状化の危険がある市南部の海岸地帯や、

天竜川に近い市東部については、基幹管路の耐震管への敷設替えを行い、おおむね液状化への対応が済んでいる。消防団員加入促進事業について

**質疑** 新設する学生広報隊の活動内容は。

**答弁** 訓練や様々な体験をしてもらい、そこで得たものを市公式のSNSだけでなく、学生消防団員個人でも発信してもらうことで、学生の入団促進や、消防団活動の認知度向上につなげていく。



AEDの使い方や胸骨圧迫など一次救命処置に必要な技術を学ぶ学生消防団員

# 代表質問

3月7日には、会派を代表して2人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松  
稲葉 大輔

子ども・子育てに対し多様な支援の枠組みを

**質問** 地方創生を推進する大きな柱である人口減少対策に向け、子ども・子育て支援施策に対する市長の考えはどうか。

**答弁** 人口減少の要因である少子化の流れから脱却・転換するためには、ひとの創生に対する支援が重要であり、6年度予算では子育てから教育まで切れ目のない支援を進めていく。具体的には、乳幼児の通院医療費無償化や、多子世帯の保育料軽減により、経済的・心理的負担を軽減する。また、ごども家庭セ

ンターの開設や訪問支援事業の拡充を図るとともに、放課後児童会の民間活力導入を促進し、待機児童の早期解消を図るなど、ライフステージに応じた成育環境を確保し、住み続けたいと感じられるまちを目指していく。

### その他の質問

- ① 中心市街地活性化は産官学連携で推進を
- ② 徳川関連収蔵品展示施設の検討状況は
- ③ 施設運営にメジャースポーツの関わりを



子育て支援の次なる扉を開きます



市民クラブ  
岩田 邦泰

ウェルビーイング指標を市民と共有し政策を

**質問** ウェルビーイング指標を市民と行政が共通認識し活用することで政策への理解、浸透が期待できると考えるが、職員向け研修の効果はどうか。また、市民向けの講座などを開設する考えはないか。

**答弁** 地域の重要なウェルビーイング因子の見つけ出しから、それを用いた政策デザインまで一連の流れを学ぶ研修を本市の管理職員を対象に実施し、その知見を活かし、基本計画の改定を行っている。6年度は、新たに市民向けの出前講座や高校

生・大学生を対象としたワークショップを行い、市民とともにまちづくりを考える機会としていく。引き続き、ウェルビーイング指標を活用し、幸福感あふれる持続可能なまちづくりを推進していく。

### その他の質問

- ① 若者の思いを施策に反映する拠点整備を
- ② プロスポーツチームの誘致で産業振興を
- ③ 入野古墳の安全対策と周辺整備の考えは



自治体職員向けウェルビーイング指標活用セミナー

# 一般質問



丸 英之  
公明党

防災力強化を含めた学校施設の老朽化対応を

**質問** 学校施設の老朽化対応について、災害時の避難所利用など、防災力強化の観点を含め考えはどうか。

**答弁** 学校施設の約7割は6年度末に築40年を経過することから、校舎などの主要建築物の劣化状況調査を実施した。これを踏まえ、学校施設整備計画実施計画を策定し、改築や修繕を実施していく。なお、学校は教育施設としての役割のほか、災害時の避難所活用など、地域の拠点施設としても重要であることから、老朽化対策と社

会的要請に対応した環境整備を一体的に進める必要がある。今後の整備に当たり、耐震性確保はもちろん、天井やガラスの落下・飛散防止、建物の断熱化、バリアフリー化などさらなる防災機能の強化に取り組んでいく。

### その他の質問

- ① アドベンチャートラベルで観光の創出を
- ② 車椅子競技専用のスポーツ施設整備を
- ③ 災害用にトイレトレーラーなどの配備を



千葉県君津市が配備したトイレトレーラー  
出典：君津市ホームページ

波線(~~~~)については、10ページの用語解説を御覧ください

# 一般質問

3月7日、11日、12日には、11人の議員が  
質問を行いました



湖東 秀隆  
創造浜松

将来を見据えた西鹿島  
駅周辺地域の活性化を

**質問** 西鹿島駅周辺地  
域は、都市計画マスタ

ープランなどにおいて  
重要な拠点として位置  
づけられているが、土  
地利用、道路、駅周辺  
の機能改善に関する市  
の考えはどうか。

**答弁** 現在、人口減少  
局面の転換を目指し、  
都市機能や居住の誘導、  
企業立地に向けた取組  
を進めており、阿蔵山  
地区の用途地域をはじめ  
、西鹿島駅周辺地域  
では土地利用見直しの  
検討を行っている。ま  
た、周辺地域の道路は  
、交通の状況を勘案しつ  
つ、既存ストックの活

用を含めた検討をして  
いる。

西鹿島駅の駅舎や駅  
前広場などの機能改善  
に向けては、遠州鉄道  
鉄道線全体の計画との  
調整も必要となるため  
、引き続き鉄道事業者と  
連携し、事業の推進に  
向け取り組んでいく。

### その他の質問

- ① 浜名区内の交流促進  
で連帯感の醸成を
- ② 河川災害に備え貯留  
施設の整備・改善を
- ③ 市内全小学校で30人  
学級編成の実施を



少人数学級編成(はままつ式30人学級編成)  
未実施の教室



久米 丈二  
自由民主党浜松

持続可能な農業発展の  
ため振興施策の推進を

**質問** 豪雨や台風災害  
物価高騰などにより、  
本市の農業は大きな打  
撃を受けているが、安  
定した農業発展のため  
の考えはどうか。

**答弁** 農業は本市の誇  
るべき産業である一方  
、高齢化、後継者不足な  
どの課題が顕在してい  
る。しかし、この恵ま  
れた自然環境とこれま  
で培われた経験と知恵  
、先端技術の導入を掛け  
合わせることで、まだ  
まだ発展できる非常に  
大きなポテンシャルを  
持った分野・産業であ  
ると考えている。

今後、さらなる農林

水産物のブランド化に  
よる競争力の強化や、  
スマート農業の推進、  
農地の集積・集約化に  
よる生産性の向上に積  
極的に取り組むととも  
に、多様な担い手の確  
保・育成に努め、農業  
の持続的発展に尽力し  
ていく。

### その他の質問

- ① 耕作放棄地の現状と  
解消のための対策は
- ② 浜松湖西豊橋道路の  
早期実現で活性化を
- ③ 浜名湖周遊自転車道  
の通学路安全対策を



ブランド化された三方原ばれいしょ



倉田 清一  
自由民主党浜松

防災意識の高揚を捉え  
住宅の耐震化率向上を

**質問** 能登半島地震後、  
耐震化の相談件数、耐  
震化率及びそれを踏ま  
えた課題はどうか。ま  
た、耐震化推進に向け  
今後の取組はどうか。

**答弁** 住宅の耐震化に  
関する今年の相談件数  
は2月末までに300件が  
寄せられている。また、  
4年度末の耐震化率は  
市内30万9千棟のうち  
中央区が92・6%、浜  
名区が92・5%、天竜  
区が79・6%であり、  
古い住宅が建ち並び地  
域の対策が停滞気味で  
あることが課題である。  
耐震改修促進計画で  
は、7年度末を区切り

に耐震化率を95%とす  
ることを目標としてお  
り、今後は、達成のた  
めの啓発と広報活動の  
さらなる充実を図ると  
ともに、古い住宅団地  
への計画的な個別訪問  
の実施など、地域差の  
解消を含めた耐震化の  
推進に取り組んでいく。

### その他の質問

- ① 保育補助者雇上強化  
事業の積極的活用を
- ② 老朽化が進む防音校  
空調設備の更新を
- ③ 要望に対する植松伊  
左地線の道路改善は



能登半島地震で被災した家屋



馬塚 彩矢香  
市民サポート浜松

生態系に悪影響がある多目的ドームの再考を

質問 遠州灘海浜公園

篠原地区に県へ建設を要望している多目的ドーム型スタジアムの夜間照明は、アカウミガメへの影響が避けられず、世界的な指針であるネイチャーポジティブの定義に矛盾すると考えるがどうか。

答弁 県への要望では、アカウミガメへの影響も考慮し、自然環境への配慮を求めている。ネイチャーポジティブと矛盾しないと認識している。県においても県議会や県民、専門家の意見を踏まえ、生物多様性の保全に配慮し

た施設となるよう、適切に判断されるものと考えている。

本市としても、自然環境の保全だけでなく、脱炭素、資源循環などの様々な施策の推進により、世界目標であるネイチャーポジティブの実現に貢献していく。

その他の質問

- ① マンホールトイレ設置地の液化化対策は
- ② 小・中学校の臭いトイレ環境の改善を
- ③ 公共施設にもベビーカールームの整備を



おむつ交換台、調乳用温水器、授乳ができるスペースなどの設備があるベビーカールーム



神間 郁子  
自由民主党浜松

若者の声を大切に継続した広聴の仕組みを

質問 若年層がこれからの本市について考え、意見やアイデアを出せる環境を整えることは重要と考えるが、意見を聞く仕組みの具体的な取組はどうか。

答弁 本市の広聴事業では、若年層からの意見や回答が少ないことが課題であり、将来を担う若年層の意見やニーズを施策に生かすため、6年度から2つのアンケート調査を実施する。15〜24歳への調査では、本市に住み続けたいか、転出後も戻りたいかなどの意識を把握し、市内の大学に

通う学生への調査では、卒業後に本市にとどまる意思、とどまるための要件、希望職種や企業が市内にあるかなどを把握する。  
新たな聞く仕組みを整え、結果を活用することで若者の意見を踏まえた施策に取り組む。

その他の質問

- ① 放課後児童会委託化後の現場把握体制は
- ② 若者の音楽文化を活用した地方創生を
- ③ 引佐北部地域の医療体制の検討経過は



本市が実施している若者が市政へ提案を行う取組(中学生未来議会)



花井 洋介  
市民クラブ

バイクのふるさとにふさわしい道の駅構想を

質問 遠州灘海浜公園

篠原地区道の駅整備事業は、バイクユーザー目線の施設整備をすることで付加価値を生み、地域の活性化にもつながると考えるがどうか。

答弁 本市が世界的なバイクメーカー創業の地であることは、国内外に広く知られ、バイクユーザーのニーズを的確に捉えた道の駅整備は、バイクのふるさと浜松という都市ブランドをさらに発信する絶好の機会になると考えている。また、バイクユーザー向けイベントを開催する道の駅は、

多くの人が訪れ、にぎわいが生まれている。  
6年度に着手する基本計画へは、バイクが出入りしやすい動線など利便性に配慮し、バイクのふるさとにふさわしい道の駅とすることにより、地域活性化につなげていく。

その他の質問

- ① 人身交通事故件数ワースト1から脱却を
- ② 子どものスポーツ環境の取組と課題は
- ③ 若年層への訴求で二輪車産業の活性化を



1100台以上の二輪車が参加したバイクイベント(KATANAミーティング2023)





**酒井 豊実**  
日本共産党浜松市議員

有料化ではなく市民協働でゴミ減量の取組を

**質問** 雑がみの自治会

ステーション回収や生ゴミ消滅型処理装置「キエーロ」の普及など協働の拡充により、ごみ減量目標の達成を推進すべきと考えるがどうか。

**答弁** 雑がみについては、集積所回収を望む

声もあるが、収集品目を増やすことでの大幅な経費増加やスペース確保の課題があるため、自治会などの地域コミュニティによる集団回収に加えて民間事業者や市による拠点回収を実施している。  
また、生ごみの減量



生ごみ消滅型処理装置「キエーロ」の実例

については、コンポストの配付やトートバック型コンポストのモニター事業を進めるほか、生ごみ処理機購入に対する補助対象件数を増やすよう検討しており、市民のごみ減量意識向上を図り、減量目標の達成を目指していく。

**その他の質問**

- ①市職員の働き方改革で時間外勤務縮減を
- ②管理体制強化で災害に強い森林づくりを
- ③持続可能な中山間地域の医療体制を



**中野 和幸**  
自由民主党浜松

舞阪駅周辺の整備を促進し魅力ある地域へ

**質問** 地域では、舞阪

駅周辺のまちづくりへの期待が高いが、都市計画における舞阪駅周辺地区の位置づけ及び今後の考えはどうか。

**答弁** JR舞阪駅周辺

地区は、駅周辺の交通便利性に優れた立地条件を活かしたまちづくりを進めていくために都市計画マスタープランの土地利用の分野別方針において、日常生活に欠かすことのできない身近なサービスを提供できる都市機能の集積を図る生活拠点に位置づけている。  
当地区はこれまで南



都市計画マスタープランで生活拠点に位置づけられている舞阪駅

北自由通路や都市計画道路舞阪駅北通り線及び駅前広場の整備など、公共交通と連携した都市基盤整備を進めており、今後の土地利用などは地域特性を踏まえ、地域の意見を聴きながら調査研究していく。

**その他の質問**

- ①海の湖観光戦略の実現への市の関わりは
- ②浜名湖の水産資源確保に向けた取組は
- ③避難所のマンホールトイレの設置訓練を



**露木 里江子**  
自由民主党浜松

豪雨時の浸水被害に対し即効性ある対策を

**質問** 豪雨時には、た

め池や田んぼダムなどを活用し浸水被害への対策を進めているが、さらなる対策が必要と考える。見直しを進めている総合雨水対策計画について、公共施設の雨水流出対策の位置づけはどうか。

**答弁** 総合雨水対策計

画では、「水を貯める」を対策の柱の一つと位置づけており、河川への負荷軽減を目的とした雨水の流出抑制対策として、既存施設の貯留容量の増大や新たな貯留施設の整備など、見直しを検討している。



運転者に歩行者優先を促すスムーズ横断歩道

現在、校庭や公園などへ貯留施設の整備を進めているが、より一層の雨水流出抑制が求められている。  
このような状況から、他の公共施設でも雨水流出抑制対策を検討し、その必要性を広く市民に周知していく。

**その他の質問**

- ①地域の介護予防の取組で健康寿命延伸へ
- ②教員への兼職兼業の認定基準と考え方は
- ③生活道路にゾーン30プラス設定の効果は



**太田 康隆**  
自由民主党浜松

水災害軽減のため流域治水対策の加速化を

**質問** 近年の台風被害などを受け、安間川・馬込川の上・中流域での総合的な雨水対策の取組はどうか。

**答弁** 安間川の浜松環状線以北に位置する若草団地周辺は、万斛橋が流下の支障となっていることなどから浸水被害が発生しており、県の整備計画見直しに合わせ、本川の流下能力に見合った西支線の改修と遊水池の整備を検討していく。

馬込川水系の狹川については、近年、宅地化進展による流域内の保水力低下など、複合



豪雨により氾濫した河川(浜名区)

的な要因により度々浸水被害が発生していることから、6年度は、中郡・大瀬小学校の校庭貯留施設の整備を進めるとともに、沿川における新たな雨水貯留施設の検討も含め、効果的な浸水被害軽減対策を推進していく。

**その他の質問**

- ①企画調整部の旗振り
- ②制度を活用し所有者不明土地等の解消を
- ③地域力向上事業で市民の想いの後押しを

**用語解説**

※1  
アドベンチャートラベル  
(6ページ)

アクティビティ、自然、異文化体験の3つの要素のうち、2つ以上を組み合わせた旅行形態。旅行を通じ、旅行者自身の変化や地域社会への貢献が期待できるとして、世界中で人気が広がっている。

※2  
ネイチャーポジティブ  
(8ページ)

ネイチャーポジティブとは日本語で「自然再興」といい、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。

※3  
ゾーン30プラス(9ページ)

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備のさらなる推進のため、最高速度時速30キロメートル区域規制「ゾーン30」とハンパなど物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域。

**「浜松市議会議員の請負の状況の公表に関する条例」を制定しました**

3月22日の本会議において「浜松市議会議員の請負の状況の公表に関する条例」を全会一致で可決しました。この条例は、令和5年3月1日に施行された地方自治法の改正により、地方公共団体の議会の議員個人による請負（工事の完成や物件の納入などの取引で、当該地方公共団体が対価の支払をすべきもの）に関する規制の対象から、各会計年度において支払を受ける請負の対価の総額が300万円を超えない者を除くこととなったことに伴い、浜松市議会における請負状況の透明性を確保するため、議員が前会計年度における議員個人と浜松市との請負についての報告書を議長へ提出すること、またその報告書を公表することについて定めるものです。令和5年度（会計年度）における浜松市との請負についての報告書は、8月30日から議会ホームページで公表するとともに、本庁市政情報室や各区役所及び各行政センターの市政情報コーナーで閲覧を開始します。

**資産等の公開にかかる報告書を閲覧できます**

令和6年4月に浜松市議会議員から提出された「資産等補充報告書」、「所得等報告書」、「関連会社等報告書」を、6月28日から本庁市政情報室や各区役所及び各行政センターの市政情報コーナーで閲覧できます。また、令和2年から5年までに市議会議員から提出された報告書は、議会事務局で閲覧できます。なお、「所得等報告書」は、前年1年間を通じて議員であった者に提出を求めますので、昨年4月9日の選挙で新たに当選した議員からの提出はありません。

**政務活動費収支報告書等の写しを閲覧できます**

令和5年5月から翌年3月分までの政務活動費収支報告書及び証拠書類の写しを、非公開情報を除き、6月28日から議会事務局で閲覧できます。また、同日から浜松市議会ホームページに掲載します。なお、令和2年度以降の書類の写しも、議会事務局及び浜松市議会ホームページで閲覧できます。（令和元年度分の証拠書類の写しは議会事務局での閲覧のみ）

詳細は、議会総務課までお問合せください。  
(☎053-457-2505)

# 特別委員会の活動状況

5年度の活動状況を報告します

## 大都市制度・行財政改革 特別委員会

### ◆区制度と住民自治

区協議会、地区コミュニティ協議会及びコミュニティ担当職員の役割について、6年1月の区再編までに明確にすべき項目を協議し、本委員会や関係団体の意見を反映させ、今後の運用ルールを明確にしました。

また、再編後の区協議会などの体制については、好意的な意見がある一方、自治会の負担感を心配する声もあることから、新体制への移行は遺漏のないよう進めるよう伝え、区再編に係る協議を終了しました。

### ◆総合計画基本計画

次期基本計画の策定の進め方について、当局から市民意識調査や有識者会議を行い、本委員会での協議を踏まえ、6年度中に計画を策定していくとの説明がありました。

### ◆大都市制度

指定都市20市の市長・議長が連名で行う国への要望活動について協議し、大都市制度にまつわる様々な要望活動を行いました。

## 地方創生特別委員会

### ◆総合戦略

浜松市総合戦略について、4年度の評価や次期総合戦略策定の参考とするため、意識調査など各種調査結果の報告がありました。

### ◆子ども子育て支援及び少子化対策

第2期浜松市子ども・若者支援プランの点検・評価について説明があり、委員から本市における少子化の原因分析について種々意見がありました。これに対し当局から、今後、少子化アンケートを実施し、結果を分析していくと答弁がありました。

### ◆中心市街地活性化

まちなか賑わい創出実現方策調査検討事業の中間報告について説明があり、複数の委員から、中心市街地に来る目的は買い物だけでなく、文化的な面も併せもつため、総合的に考えるべきとの意見がありました。

### ◆企業誘致等

阿蔵山産業用地開発事業の現状やICT企業誘致戦略について説明がありました。

## 大型公共施設建設 特別委員会

### ◆県が整備する新野球場

篠原地区に整備が予定されている県営野球場と公園の動向について報告を受けました。

### ◆四ツ池公園スポーツ施設

公認2種以上の陸上競技場を整備する方針について了承しました。今後、具体的な調査を進め、6年度に整備構想を策定していくとの報告を受けました。

### ◆新清掃工場建設

老朽化が進む西部清掃工場を更新し、11年度から新たな工場を稼働させることについて報告を受け、委員からは、新工場の緊急避難場所としての活用や、余熱供給の活用方法について意見がありました。

また、これまで協議してきた天竜区の新清掃工場が完成したため、現地の視察を行いました。

### ◆新病院建設

これまで協議してきた新病院棟が完成したため、現地の視察を行いました。

## 危機管理・交通政策 特別委員会

### ◆災害対策に関する事項

当局から、6月2日の大雨に伴う災害対応について説明がありました。これに対し委員から、4年9月の台風第15号の浸水被害から改善していくべき点や課題が見えたと思うが、今後の方向性があるのか、とただしただころ当局から、浸水対策には河川改修が必要となるが、まずは雨水の貯留を考えていかなければならないとの答弁がありました。

このほか、道路の被害状況や復旧のめど、被災者への支援についてなど、多くの質疑・意見がありました。



6月2日の大雨で冠水した道路(中央区神原町)

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2  
編集／浜松市議会事務局  
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。ぜひ御覧ください。



左下から右斜めに伸びた道の先に一本の電柱が象徴的に立ち、道端の草や畑の野菜が青々と茂る。1920年10月19日、洋画家の岸田劉生(1891-1929)は彼を支援していた中央区和合町の山本貞治郎(1890-1923)邸を訪れ、その翌日に本作品を描いた。劉生の日記には、当日は曇天だったが、写生するのに中々良い所があったので40分ほどで畑と赤土の道を描き、雨が少し降ってきたため急いで仕上げたと記載されている。画中の空色も鈍く、雲が立ち込めている。さらに、簡単に描いた風景画だが、自分の気持ちを表現することができたとしている。

劉生は、1915年に当時住んでいた代々木の黒や赤い土の生々しい不思議な生命力と草の美しさに心奪われ、主催していた展覧会を草土社と名付けた。浜松市美術館所蔵の《草と赤土の道》(1915年6月18日)はその由来となった作品である。



浜松市美術館 ホームページ  
岸田劉生・北蓮蔵・曾宮一念「浜松ゆかりの洋画」展  
同時開催 ひっぱりだこ展「全国行脚の浜美コレクション」  
6月2日(日)まで開催

紙上美術館  
No.186



再生紙を使用しています



不要になればリサイクルへ

今後の議会活動の予定

〔5月〕

10日 各常任委員会  
13日 議会運営委員会  
17日 議会運営委員会  
23日 本会議(5月定例会  
開会)

〔6月〕

3日 議会運営委員会  
4日 本会議(代表質問)  
5日 本会議(一般質問)  
6日 本会議(一般質問)  
7日 各常任委員会  
14日 議会運営委員会  
17日 本会議(採決・5月  
定例会閉会)

紙面に関するお問合せ  
浜松市議会事務局 調査法制課  
☎053-457-2513